

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：木村 昌司

事業名	つばめきた 燕北バイパス（一般国道289号）	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県
起終点	自：新潟県燕市東太田 至：新潟県燕市井土巻	延長	4.8km		
事業概要	一般国道289号は新潟県新潟市から三条・燕市を経て、福島県いわき市へ至る幹線道路である。燕北バイパスは、燕市中心地の環状道路に位置付けられ、通過交通を排除することにより、市街地内の交通円滑化と交通安全性向上を目的とした延長4.8kmの4車線（暫定2車線）道路である。				
H9年度事業化	S48年度都市計画決定	H11年度用地着手	H20年度工事着手予定		
全体事業費	72億円	事業進捗率	24%	供用済延長	0km
計画交通量	7,000～10,200台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.5  (残事業) 4.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 47/65億円 事業費：42/60億円 維持管理費：5/5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 224/224億円 走行時間短縮便益：187/187億円 走行費用減少便益：28/28億円 交通事故減少便益：9.2/9.2億円	基準年	平成18年
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.3(交通量+10%) B/C=4.3(交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.4(事業費+10%) B/C=5.3(事業費-10%)				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑なモビリティの確保…燕三条駅(新幹線駅)へのアクセス向上が見込まれる</li> <li>・国土・地域ネットワークの構築…日常活動圏中心都市(三条、燕市中心部)へのアクセス向上が見込まれる</li> <li>・個性ある地域の形成…三条燕ICから弥彦神社・弥彦温泉へのアクセス向上が期待される。</li> </ul> <p style="text-align: right;">他7項目に該当</p>				
関係する地方公共団体等の意見	新潟・福島両県の沿線市町村を中心として「国道289号線建設期成同盟会」が組織されており早期整備、供用の強い要望がある。また「新潟県県央広域市町村圏協議会」からも同様な要望が出されている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年3月20日に燕市、吉田町、分水町が新設合併し、人口約8万人の燕市が誕生</li> <li>・大規模小売店舗の立地等、土地利用の進展により交通量が増加</li> </ul>				
事業の進捗状況、残事業の内容等	事業用地の取得（家屋補償を含む）を進めており、残事業は（仮称）朝日大橋を含め4.8kmである。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地及び補償費に多大な予算を必要とする為時間を要しているとともに、用地買収難箇所があったが、買収見込みとなったため、買収を完了するとともに今後橋梁工事に着手し、事業の進捗を図る。				
施設の構造や工法の変更等	特になし				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性や重要性は高く、事業進捗も見込まれることから、継続が必要である。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。